

オンコロジーセミナー2011 受講要綱

目的 癌薬物療法を専門とする薬剤師を養成する.

■日 時 2011年10月23日(日) ～ 2012年3月11日(日)【全6回】
午前10時 ～ 午後3時30分(一部変更あり)

■場 所 福大メディカルホール

■講義内容 別紙スケジュールをご参照ください。

■対 象 者 薬剤師

■定 員 150名 (先着順)

応募多数の場合、お断りさせていただくことがあります。
ご了承下さい。

■資 料 代 10,000円 (全日程分)

前払い制とさせていただきます。
後日、振込用紙を送付させていただきますのでお振込下さい。

■申込方法

参加につきましては事前登録制にさせていただきます。

参加を希望される方は申込書に必要事項を記入の上、FAXにて事務局へ
お送りください。(締切日厳守)

申込書はNPO法人臨床血液・腫瘍研究会のホームページからダウンロードが
可能です。

■締め切り 2010年8月17日(水)

■共 催： 福岡大学大学院医学研究科
福岡大学病院腫瘍センター
NPO法人 臨床血液・腫瘍研究会
(福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科学内)

【カリキュラム】

I. 一般学習目標 (General Instructional Objective)

1. 悪性腫瘍について病態生理を学び理解できる.
2. 担癌患者について理解できる.
3. 癌の治療（集学的治療）について理解できる.
4. 癌に使用される薬物の効果、副作用、薬物間相互作用を知る.
5. 癌患者や家族が生活の質を維持し、より高められるように患者の援助ができる.
6. 安全で効果的な癌化学療法が提供できる.
7. チーム医療として緩和ケアと腫瘍カンファレンスに参加できる.

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 癌に関する基礎的な知識

- ① 癌の原因、遺伝学、発癌、癌自然史、浸潤、転移が理解できる。
- ② 主な疾患別腫瘍、診断、症状、治療が理解できる。
- ③ 腫瘍随伴症候群、支持療法、血液製剤、疼痛管理が理解できる。
- ④ 自己および同種造血幹細胞移植、移植免疫が理解できる。
- ⑤ 化学療法薬、生物製剤、増殖因子製剤、多剤併用、合併療法が説明できる

2. 癌治療に使用される薬物の基礎的な知識

- ① 抗悪性腫瘍薬の基礎、分類、薬理作用、機能的分類が説明できる。
- ② 抗悪性腫瘍薬の一般的な副作用、薬剤別の特有な副作用が説明できる。
- ③ 抗悪性腫瘍薬の体内動態が説明できる。
- ④ 殺細胞作用様式が説明できる。
- ⑤ 多剤併用療法の原理を説明できる。
- ⑥ 施行予定の癌化学療法に対し、患者情報（全身状態、臨床検査値）、薬物動態、薬力学的情報を基に最適な治療計画をたてることのできる。

3. 癌薬物療法の実施にあたって押さえておくべき事項

- ① 医療チームのなかで、治療目標・治療計画設定・治療経過カンファレンスに参画できる。
- ② 治療目的・治療計画に基づいた治療結果の評価ができ、その後の治療にフィードバックできる。
- ③ 癌化学療法における標準的治療法、治療・支持療法のガイドラインが説明できる。
- ④ 癌治療（特に癌化学療法）に関連する文献を検索し、抗悪性腫瘍薬の単剤・併用療法における基礎・臨床データの収集と理解、および評価できる。また

推奨される癌化学療法確立に向け、既存の情報と新情報との比較ができる。

- ⑤ 抗悪性腫瘍薬の効果判定基準，副作用判定基準が説明できる。
- ⑥ 緩和ケア，疼痛コントロールのガイドラインが説明できる。

4. 癌薬物療法の実際

- ① 癌化学療法施行にあたり必要な患者情報を収集し評価できる。
主訴・前治療・臨床検査値・既治療歴
- ② 有害事象の予防と早期発見とその対策，支持療法についての知識を習得し，
評価・モニタリングができる。
- ③ 医師の治療方針に基づき患者・家族への情報提供，薬物に対する副作用予防
と早期発見を目指した服薬指導と支援，カウンセリング，薬歴管理ができる。